

南スーダンに特殊部隊

笠井氏追及に防衛省否定せず

衆院外務委

アフリカの南スーダン共和国に展開中の自衛隊PKO（国連平和維持活動）部隊に、海外派兵を専門に担う陸上自衛隊・中央即応集団（CRF）傘下の、ほぼすべての部隊が派兵されていることが分かりました。16日の衆

院外務委員会で、日本共産党の笠井亮議員の質問に対し、若宮健嗣防衛副大臣が明らかにしました。
若宮氏は、第1空挺（くうてい）団を除いて、南スーダンに司令部、司令部付隊、第1ヘリコプター団、中央特殊武器防護隊、国際活動教育隊、中央即応連隊、対特殊武器衛生隊の派兵実績があると答弁。南スーダンの自衛隊「施設隊」は、指揮系統だけでなく、部隊編成でもCRFが全面関与している実態が判明しました。
笠井氏は、「陸自唯一の特殊部隊」とされる「特殊作戦群」についても、他のCRF部

南スーダンに派兵されている中央即応集団の部隊

司令部・司令部付隊	司令部活動とその支援部隊・物資の機動展開
第1ヘリコプター団	核・生物・化学兵器対処
中央特殊武器防護隊	海外派兵向け隊員教育
国際活動教育隊	海外派兵の先遣隊
中央即応連隊	生物剤患者などの治療
対特殊武器衛生隊	テロ・ゲリラ対処など
特殊作戦群	

隊と組み合わせる活動すると防衛省はこれまで

で説明してきており、「当然派兵されているはずだ」と指摘。若宮氏は、「そういう文脈になるかと思う」と述べ、派兵を事実上認めました。

笠井氏は、戦争法によって南スーダンPKOに「駆け付け警護」などの危険任務が付与されれば、特殊作戦群などのCRF専門部隊が担うことになると指摘。戦争法の危険性がますます明白となりました。